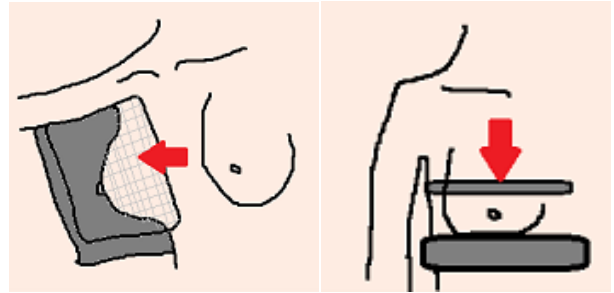


【 乳房撮影 部門 】

●マンモグラフィとは？

乳房検査の一つで、乳房を平らに広げ圧迫し、より少ないX線量で撮影する検査です。触診では分からない小さなしこりや、早期がんのサインである「微小石灰化」を見つけることが得意です。

当院では、患者様の不安や痛みを少しでも軽減できるよう、配慮して検査を行っています。



✓ 早期発見の鍵

乳がんは早期に発見できれば、治癒する可能性が非常に高い病気です。

40歳を過ぎたら、1～2年に1度の定期的なマンモグラフィ受診が推奨されています。

●検査の流れ（所要時間は約 10～15 分）

1. 上半身の服と下着を脱いでいただきます。
2. 乳房の固定撮影台に乳房を乗せ、板（圧迫板）で挟んで固定します。（片胸ずつ行います）
3. 息止め、撮影
ブレを防ぐため、撮影の瞬間に数秒間だけ息を止めていただきます。
基本的には、左右それぞれ「上下」と「左右」の2方向（計4枚）、または1方向（計2枚）を撮影します。
診療では追加して3Dマンモグラフィの撮影をします。

●3Dマンモグラフィを導入しました

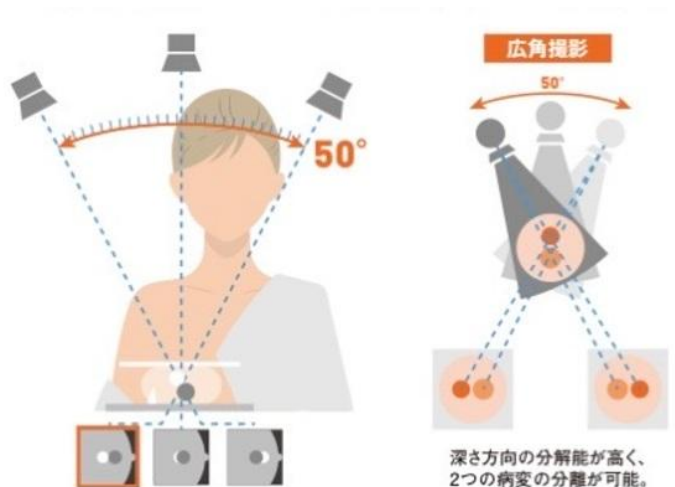
※検診では撮影していません（2026年時点）

✓ 3Dマンモグラフィとは

トモシンセシス（Tomosynthesis）とも呼ばれる最新の撮影技術です。

従来の2D撮影に加え、角度を変えて複数の角度から1mm幅で連続撮影を行い、これらの画像をコンピューターで再構築し、3次元画像に変換、乳房の中が見える動画のような画像が出来上がります。

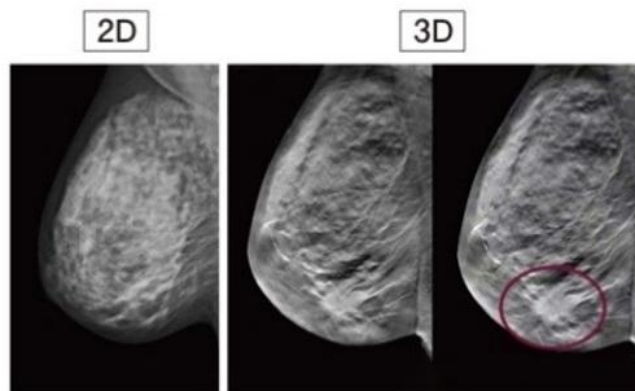
乳腺の重なりに隠れていた小さな病変も、より鮮明に描き出すことが可能です。



このことで良性・悪性の診断性能もあがり、その結果早期発見につながります。当院では約 5 秒間で撮影可能です。また細かく写し出せることで、不要な再検査や誤診を減らすことも可能になります。

右の○がついている部分に病変部が写っています。2D 画像では周りの乳腺組織で分かりにくく隠れてしまっています。

当院では乳がん検診で精密検査となった方など外来を受診された患者さんに 3D 撮影をさせていただいています。



画像提供:シーメンス社

●撮影装置のご紹介

✓【健診センター】

HOLOGIC（ホロジック）社製
Selenia Dimensions



✓【診断部門】

SIEMENS（シーメンス）社製
MAMMOMAT B.brilliant



3D マンモグラフィ撮影の動き



✓【画像診断システム】

マンモグラフィ読影診断ワークステーション
ネットカムシステムズ社
mammodite（マンモディーテ）

画像診断高精細モニター
BARCO（バルコ社）
5 M（5 メガ）

●撮影の時に申し出てください

- ✓ ペースメーカー、ICD（除細動器）を留置している方
- ✓ V-P シヤントを埋め込んでいる方
- ✓ CV シヤントを留置されている方
- ✓ インスリンポンプ、リブレプロを装着されている方
- ✓ 妊娠中の方
- ✓ 授乳中の方
- ✓ 豊胸手術（シリコンバック、生理食塩水バック、ヒアルロン酸注入、脂肪注入）を施行されている方
- ✓ 乳房の手術をされている方

機器の破損や障害が発生する場合があります、事前に申告をお願いします。

撮影の可否は主治医の判断になります。

●安心して受診いただくために

- **女性技師による対応**： 当院では女性放射線技師が撮影を担当し、プライバシーに配慮します。
- **認定技師による対応**： 担当者は『検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師』の認定を受けています。
- **痛みに関して**： 撮影中に強い痛みがある場合は、遠慮せずすぐにスタッフに申し出てください。
- **低線量での撮影**： 3D 撮影であっても、ガイドラインに基づいた安全な放射線量を使用しています。
- **施設評価**： マンモグラフィ検診施設・画像評価の認定を取得しています。
(2026 年現在)

●乳がん個別検診

乳腺外科外来でご予約を受け付けています。

ご予約可能な曜日、時間については乳腺外科外来にお問い合わせください。

当院では、休日の個別検診も実施しています（要予約）。

問い合わせ先：0776-36-3630 乳腺外来